



# 玄関口のまちづくり 談義ニュース 7

発行：隠岐の島町建設課 2019年10月

隠岐の玄関口である西郷港周辺のまちづくりについて、誰でも参加できるオープンな場で行う談義の結果を「玄関口のまちづくり談義ニュース」として発信していきます。



天神さん前に集合して港町のまち歩き



フェリーターミナル3階で談義

第9回「西郷港周辺まちづくり談義」

## 港町のまち歩きと

### 話し合いを行いました

第9回談義では、令和元年9月28日（土）午後1時、天神さん前に集合した後、川沿いを八尾橋へ、そのあと裁判所脇を通り、路地を抜け、愛の橋通りから合同庁舎まで巡って、気づいたことを付箋に書きながら港町を歩きました。

まち歩き後は、フェリーターミナル3階へ移動し、前日に行った西郷小学校や西郷中学校との談義結果の紹介、まち歩きで感じた港町の課題、丘の名前等について話し合いを行いました。

港町のまち歩きで出た意見は、「消防活動ができないほどの狭い路地が続くため火が出ると大変なことになる」「初期消火に向けた消火栓の整備は進んでいるが、消防団の若返りが必要」「百年の計で若い人が住み続



けられるよう建て替えを可能にする制度整備」「せめて幹線道路だけでもきれいにし、時間をかけてでもよくなっていく方向が見えることで住民は安心する」などでした。  
また、川沿いや海が近い景色はともよいという意見がある一方で、地震・津波・火災といった災害への備えについて、「水面が近い分、津波がきた時の避難のことを考えておく必要がある」などの意見が多く出されました。  
他の意見は、下水の勾配をつけた匂いの解消、下水路の蓋の工夫、空き家撤去、風の通り、漁具などの整理、係船場に似合う街灯の設置、遠い駐車場の問題についてなどで、これらも含めた生活環境と景観形成の課題について談義しました。

## 次回談義の予定

11/2  
(土)

### 第10回まちづくり談義（避難訓練の意見交換）を開催します

時間：11:00～13:00  
場所：西郷小学校体育館

談義に先立ち、東町・中町・西町・港町自治会役員を中心に避難路点検（避難訓練）を実施します

◆10:00に各地区を出発 → 避難行動や、避難路の確認を行います



避難路点検（避難訓練）は自治会役員を中心に「まずはやってみよう!」としていますが、一般参加もお待ちしております  
出雲大社神門通りの整備で総合コーディネーターを務められた桑子敏雄氏を迎えまちづくり談義を行っています

## 西郷小学校が立地する「台地」と「通学路の坂」の名前について

丘の名前については、これまでの談義でも話題になってきましたが、その後の調べで「隠岐島誌」に「大城山」「おおじろやま」と記載されているという報告があり、これを踏まえて、まちづくり談義では大城山という方向で考えることになりましたが、読み方は、原文に忠実に「おおじろやま」とするか、呼び慣れている「おおじろ」として「おおじろやま」とするかをどうするか考えることになりました。

また、トンネルから運動公園側は、地域の偉人「桜井仁蔵さん」にちなんで呼ばれている「仁蔵山」を採用するという点について、最終的には役場が判断することになりました。

小学校の第4通学路については、こどもたちの意見を尊重し、乃木大将にちなんで「乃木坂」にすることとしていましたが、その後、地元の高齢者の方から昔から「金びら坂」と読んでいるという情報をお寄せいただきました。そこで、再度、小学生談義で西郷小のこ

もたちの意見もあり、また、まちづくり談義でも、呼び慣れた名前があるなら、災害時にもわかりやすいので、「金びら坂」にしようといった意見で一致しました。

西郷小学校は災害時の避難場所、小学校へ登る坂は避難路となっています。台地や坂の平常時の呼び方を決めることは、非常時にどこを通ってどこにいかなければならぬかということを確認することにつながります。

そこで、非常時に備えるためにも、ウォーキングや墓参り、遊び場などで活用することが大切であるという意見で一致しました。

西郷玄関口のまちづくりでは、歩きたくなるような「みち」や「賑わいづくり」も目指しています。通学路以外にも「寿坂」「供養坂」「田中坂」など、地元のみなさんに親しまれている呼び名について、情報を整理し、賑わいづくりにつなげていきたいと考えています。ぜひ、みなさまからの情報をお寄せください。

地域で呼ばれている名前、歴史、子ども達の意見、おとなの意見から命名を考えています。



→ 最終的には、今年度役場で策定する「西郷港周辺まちづくり計画」の中で決定します。

## テーマ 大城山をどのようにつくっていくか

西郷港周辺まちづくり談義は、「世代をつなぐ」まちづくりと位置づけ、小中高生たちの積極的な参加を進めています。

今回で3回目となる小学生談義は、令和元年9月27日（金）に行い、第1回の「よい話し合いとは」、第2回の「通学路の坂に名前をつけよう」に引き続き、今回は「小学校がある丘をどのようにつくっていくか」といったテーマで話し合いました。小学校の丘は、「隠岐島誌」に「大城山」（おおしろやま）と名付けられていたことから、8班に分かれて、この大城山をどのようにつくっていくか話し合い、また、話し合った結果を発表しました。

大きな声でわかりやすく発表し、聞く人は発表する人の方を見て真剣に話を聞くという態度で、「桜や隠岐島のいろいろな彩りゆたかな木のある自然豊かな丘にする」、「子どもが楽しく遊べる場にする」、「観光客も楽しみで登ってこられる丘にする」といったアイデアを出し合い、よい話し合いを立派に実践しました。



- 1班 ● 整備（木を切って花を植える）  
● 置きもの（ベンチ・ライト・オブジェ）

- 2班 ● 観光スポット（展望台）  
～大城山に登ってくるように～  
● 宿泊（展望できるログハウスなど）

- 3班 ● 遊べる場所（公園・動物園）  
● 観光地にする（ホテル・自然）

- 4班 ● 木を植えてきれいにする（桜など）  
● 楽しくにぎやかなところをつくる（VECC）

- 5班 ● 遊び場（アスレチック、地下秘密基地）  
● ながめをよくする（倒れそうな木を切る）  
～展望台～

- 6班 ● みんなでゴミを拾う日をつくる  
● 公園をつくる（遊べる）

- 7班 ● 自然を再利用する（木を植える）  
● 整備・作る（アスレチック、キャンプ）

- 8班 ● 自然を守る  
● 遊ぶ場所を作る（アスレチック）



## テーマ よい提案・話し方の仕方とは

令和元年9月27日（金）、西郷中学校3年生と行った中学生談義では、11月14日に開催される「こども議会」で町長へ提案するためのテーマについて話し合いました。どのようなテーマにするか、提案までには何をしなければいけないのか、いつ頃の項目を実施するのかといったスケジュールをリスト化するなど、各グループで趣向を凝らした話し合いを行いました。

談義の前半では、「よい提案・話し方の仕方とは」～町長の気持ちになって考える～として、最も大切な心得をひとつ、各グループで考え、発表しました。

「主張の質」「メリットのある町民目線のアイデア」「どの世代も喜べる隠岐が盛り上がる提案」「話し方・内容・見せ方で話し方が最重要」「話し方（声のトーン・語尾を下げる・アナウンサーのように）」「礼儀正しくジェスチャーを用いて、質問攻めにあってもくじけない心」「まちの課題を解決する意見」「ゆっくり笑顔で話す」といった内容でした。子ども議会ではこの成果の実践に期待しましょう。

テーマには、まちづくりや活性化なども含まれています。

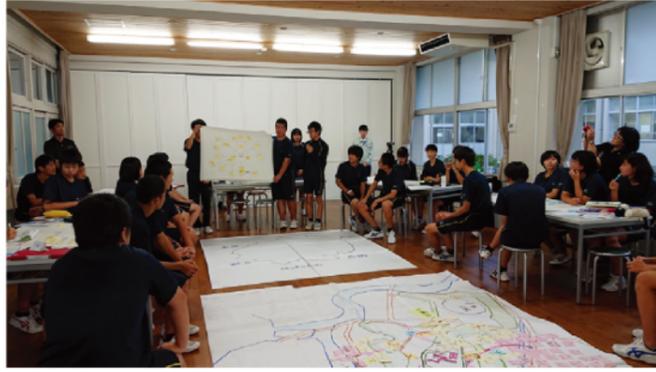
中学生は、今後10時間かけて、既存資料しらべ、電話や訪問による調査、発表資料作成を行います。

## こども議会へ向けて

- ① 漁業の後継ぎを考える  
(インタビューや調査から提案する)
- ② 隠岐を観光のしやすいまちにしよう  
(ヒアリング&課題解決の方法を考える)
- ③ イベントを考えます
- ④ まちおこし  
(一石二鳥のアイデアについて調べて、その内容から提案を考える)
- ⑤ ターミナル整備と周辺整備の5つの提案を考えます
- ⑥ まちづくりと観光をテーマにアイデアを出し合いました  
(こどもがゆっくりできるなど)
- ⑦ 医療をテーマに課題解決に向けたインタビュー&資料しらべ
- ⑧ 福祉をテーマにスケジュールを組み立てました

## 中学生談義

## テーマ 中学生議会で提案する「テーマ」と「提案までにする内容」



第3回

小学生談義